



低所得国におけるエネルギー転換

ヴィジヤヤ・ラマチャンドラン

## 米国とEUによる気候外交（1.5度と2050年ネットゼロ目標）

温暖化を1.5度以下に抑え、2050年までに排出量純ゼロを達成するために、富裕国（EUと米国）は、貧困国でのエネルギー・プロジェクト融資をグリーン・エネルギー・プロジェクトのみに限定するよう主張してきた。

EUと米国は、世界銀行や欧州投資銀行などの融資銀行に対し、風力や太陽光、グリーン水素、スマート・マイクログリッド・ネットワークのみに融資するよう主張している。

彼らは、アフリカでの天然ガス・プロジェクトへの融資を早ければ2025年まで、それまでは「例外的な状況下」においてのみ停止することを望んでいる。

## 発展途上国における西側外交の見方 (特に化石燃料)

発展途上国は、自然エネルギーだけで運営されている豊かな国がないことを知っている。アイスランドを除けば、それに近い国はない。

豊かな国の国内政策は、貧しい国に対して提唱しているものとは大きく異なる。

ノルウェーがよい例だ。

欧州では天然ガス価格が史上最高値を更新しており、ノルウェーは大儲けしている。

近年、欧州の深刻なエネルギー不足を解消するため、天然ガスの輸出货量を20億立方メートル増やすことで合意した。

イギリスなどの近隣諸国は、冬が近づくにつれてガスの供給が増えることに感謝している。

## 西洋の偽善

欧米は自国の石油・ガス産業の価値を知っている。

ノルウェーは世界で最も化石燃料に依存した富裕国である。輸出の41%、国内総生産（GDP）の14%、政府収入の14%、雇用の6~7%を原油と天然ガスが占めている。

ノルウェーはヨーロッパ最大の炭化水素埋蔵量を誇り、世界第3位の天然ガス輸出国である。

事実上、アフリカにこう言っているのだ：われわれは豊かさを維持するが、君たちは発展してはならない。排出量を抑えさえすれば、いくばくかの施しを君たちに送ろう。

## "緑の植民地主義"

偽善は他国にも及んでいる。私はこれを "緑の植民地主義" と呼ぶことがある。

ドイツは昨年、新しい炭鉱を開設し、石炭の中でも最も汚染度の高い褐炭を生産している。

ドイツはまた、より多くの天然ガスを輸入するため、新たに4つのLNG基地を建設している。ドイツは石炭から撤退するために20年の猶予を与えている。

英国は2021年に新しい炭鉱を承認した。

バイデン大統領は、排出量削減の高い目標を掲げているが、米国の石油需要を満たすためにOPECに増産を要求している。

COP26の数日後、アメリカはメキシコ湾で10億バレルの石油採掘権を競売にかけた。同様の行動は、パリ条約調印後の数日間にも行われた。

## なぜそれが重要なのか？

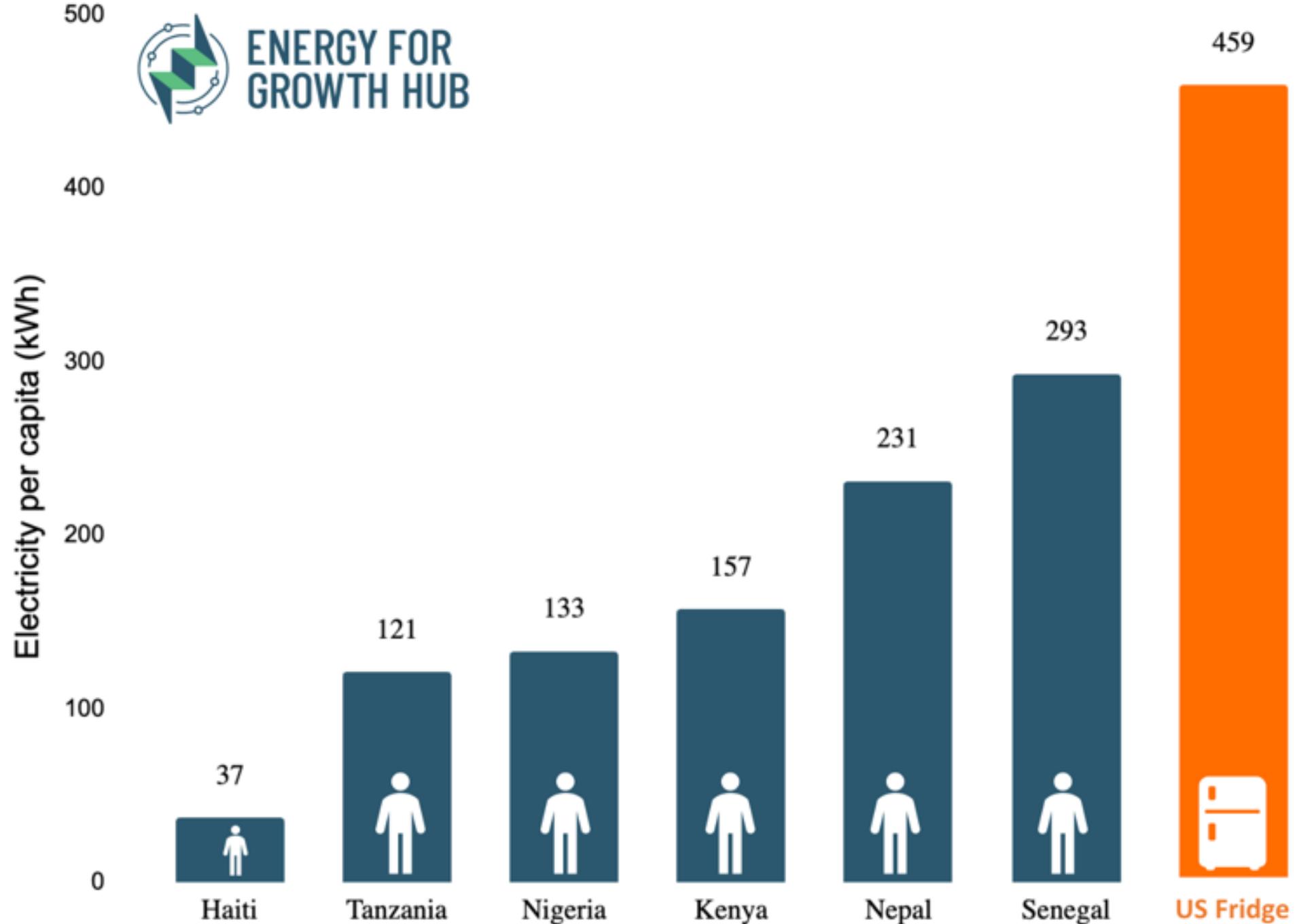
約6億人がまったく電気のない生活を送っており、そのほとんどがアフリカに住んでいる。

これらの人々は貧困にあえいでおり、一人当たりの年間所得は2000ドルから3000ドルで、アメリカやヨーロッパ諸国の約20分の1である。

学校、病院、工場には電気がない。雇用が失われ、命が失われ、乳幼児の死亡率が高い。

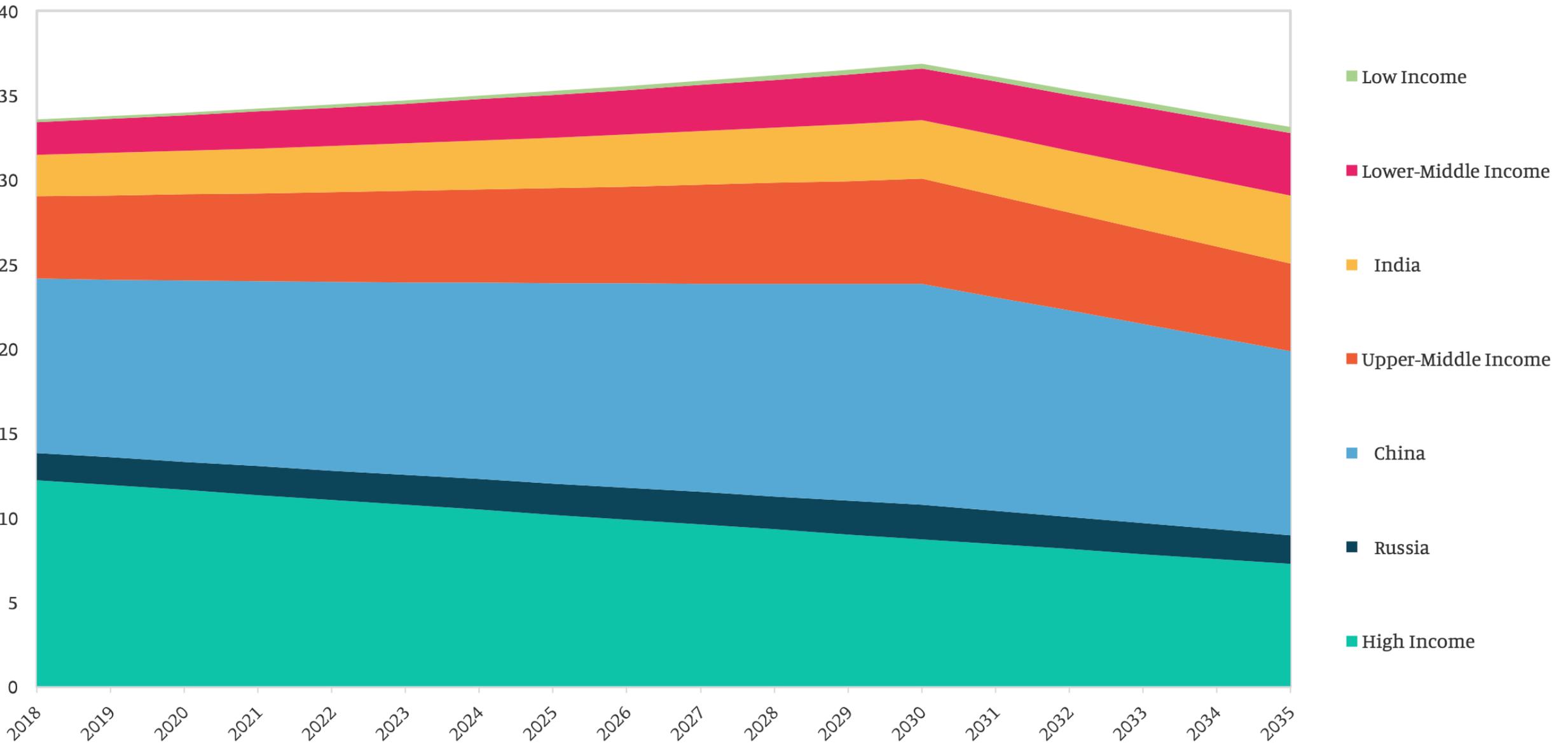
エネルギーはその一因である。これらの国々は、エネルギー使用を大幅に増やさなければ貧困から脱却できない。そして、その一部は化石燃料からもたらさなければならない。

現代の高収量農業は、大陸の人口を養い、農村の若者に自給自足農業よりも良い未来を提供するために必要なものだが、エネルギーに大きく依存している。



Source: IEA, data for 2019

# Projected CO2 Emissions (Gigatons)



## 農業、工業、道路、輸送用エネルギー

現在の収穫量は豊かな世界の10分の1であり、アフリカは高価な輸入品に大きく依存している。

収量を向上させるための合成肥料は、天然ガスを用いて生産するのが最も効率的である。

セメントと鉄鋼は住宅や工場の建設に必要であり、大規模な工業化と何千もの雇用の創出に不可欠である。

道路や建物の建設はエネルギーを大量に消費し、化石燃料を大量に消費する。

運輸部門は依然として石油とガスにほぼ全面的に依存している。

## 貧しい国々はより多くのエネルギーを必要としている

貧しい国々は、気候変動に適応するためにより多くのエネルギーを必要としている。早期警報システム、灌漑、海水淡水化、空調、強靱な建物など。

おそらく最も重要なことは、天候に左右される風力発電と太陽光発電のバランスをとるために、化石燃料による発電が依然として必要だということだ。

いくら太陽エネルギーや風力発電を導入しても、たとえそれが急速に普及したとしても、化石燃料を使ったバックアップ電源なしには、グローバル・サウスでの開発を促進することはできない。

## 貧しい国々はより多くのエネルギーを必要としている

貧しい国々は、家庭、学校、工場のための電力、セメントや鉄鋼を生産するための工業用熱、合成肥料の必須成分であるCO<sub>2</sub>、輸送や調理用燃料としての液化ガスを必要としている。

米国とEUがガス・プロジェクトへの融資を禁止すれば、低コストの代替案もなく、経済発展と生活水準の向上に必要な重要なエネルギー・インフラへの支援が実質的に打ち切られることになる。これは非倫理的で非道徳的である。